

# ふれあい新聞



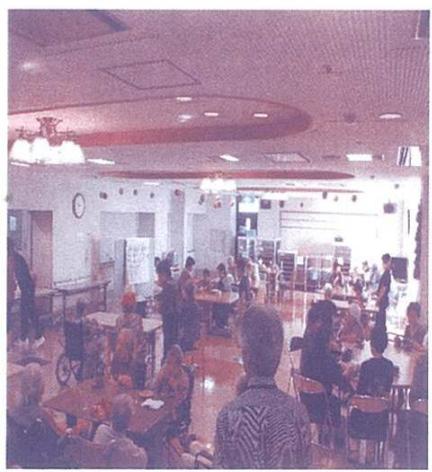
秋号

平成 29 年 9 月 19 日 やはぎ苑敬老会 記念品贈呈式

発行日 平成 29 年 10 月 1 日 第 67 号  
発 行 社会福祉法人 瑞穂会  
ふれあい新聞編集部  
本 部 〒 444-0936  
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地  
TEL (0564) 34-3666  
FAX (0564) 34-2347



# 敬老会



日時 平成29年9月19日  
場所 2F 食堂

午前中、やはぎみや「幼稚園の園児の皆さんと交流会を開き、園児の皆さんの元気な歌や踊り、さらに、一緒に手遊びなどをして楽しんでいただきました。

昼食の後、2階食堂にて「敬老会」を開きました。施設長の挨拶で始まり、表彰式と記念品贈呈が、今年表彰される「家族の方々、ケアハウスの入居者の皆さん、当ショートステイを利用されていた皆さんに温かく見守られながら、行なわれました。

今回の表彰者は、今年100歳を迎えた方1名、百歳以上の方4名(最高齢は106歳)、88歳を迎えた方3名(内1名ケアハウス入所者様)でした。

表彰式の後は、しばらくの間、「家族の方との日ために用意した和菓子とお茶を飲みながら、会話を楽しんでいただきました。

来年も、今年以上に多くの方をお祝いする」とが出来るよう職員一同精一杯お世話させていただきますので、皆さんいつまでも元気でいてくださいね。





10年・5年勤続表彰

入居者の皆さん、来年も楽しみに待っていてくださいね。



今年も、1年のうちで一番のイベント「やはぎ苑夏祭り」が7月23日に行われました。当日の天気は昼から曇り空になり、じつとしても汗が出るような暑さではなく、「しやすいくらいで、夏祭り気分を味わうには少し物足りないくらいでした。

それでも、夏祭りが施設長の挨拶で始まる、にわかに盆踊り会場は盛り上がり、いつもの熱気を



帶びた夏祭りらしくなりました。20時をまわり今年の夏祭りも無事終わる事が出来ました。これ

もひとえに、入居者のご家族の方々、並びに毎年協力していただいているボランティアの皆様方のお力添えのおかげと感謝しております。



## デイサービス

「いつもありがとうございます。」  
やはぎ苑デイサービスでは、毎月多くのボランティアの方々にお越しいただいて手品や踊り・楽器演奏や歌を利用者の皆さん前で披露していただいています。

今回は、やはぎ苑のヘルパーで働いている職員の紹介で来て頂きました。そして最後には、懐かしい歌にあわせ皆で踊ることが出来大いに盛り上りました。

当日、ケアハウスやグループホームにも声をかけ一緒に楽しみました。そして最後には、懐かしい歌にあわせ皆で踊ることが出来大いに盛り上りました。

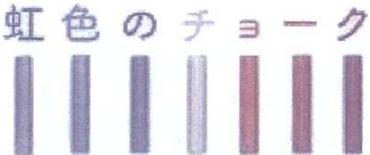
# 秋の夜長を楽しんでみては？

「日本で一番大切にしたい会社」として全国で注目を集め続けている日本理化学工業という会社を「存知でしょうか？」

最近テレビでも多く取り上げられているので「存知の方も多いと思いますが、キットバスを開発し、ダストレスチョークの製造で業界シェア1位を誇る会社です。」

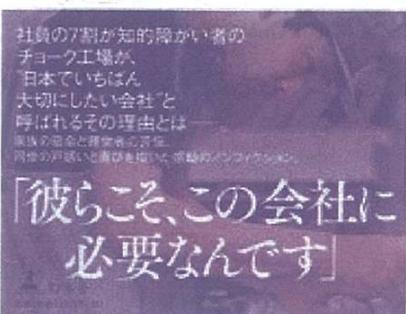
2017年5月に幻冬舎から出版された「虹色のチョーク」は、日本理化学工業の会長や社長、働く社員、さらには、障害者の「家族へのインタビューを通して、「働く幸せ」を伝える一冊です。

昭和12年に小さな町工場からスタートして、昭和35年に2人の少女を雇い入れた事をきっかけに、障害者雇用に力を注ぎ、現在でも全社員のうち知的障害者が7割を占め、一人ひとり彼らの能力に合った仕事をつくることで、彼らは製造ラインの主戦力となり、社員のほとんどが定年まで勤めあげるようになりました。今こそ注目を浴びる会社になりましたが、父大山泰弘さんから経営を受け継いだ長男の隆久さんは、その道のりは困難の連続だったと語っています。



働く幸せを実現した町工場の奇跡

小松成美



虹色のチョーク

小松 成美 著

働く幸せを実現した町工場の奇跡

( 幻冬舎 )

曰く、物やお金をもらうことが人としての幸せではない。  
人に愛される」と  
人に褒められる」と

人の役に立つ」と  
人から必要とされる」と

さらに住職は、「人に愛される」とは、施設にいても感じる」ことができますが、人に褒められ、役に立ち、必要とされる」とは、働く」として得られるのですよ。つまりそのひとたちは、働く」とによって幸せをかんじているのです。」そのことに気付いた泰弘さんは、目から鱗が落ちる思いだったと語っています。その瞬間から一人でも多くの知的障害者を雇う会社にしようと思ったそうです。

障害者と一緒ににはたらいていくなかで、ともに感動し、尊敬しあいながら7割の知的障害者が誇りをもつて高品質のチョークを作り、働く喜びを持つ「皆働社会」を経営理念の一つとして築き上げた日本理化学工業の大山泰弘会長は、平成21年、福祉や教育などの社会事業にも尽力した企業経営者に贈られる渋沢栄一賞を授与されました。

最後に筆者は、人と繋がりたい、人を思いやりたい、人が恋しい、人として生きた証を記したいという思いに駆られた時は、ここにきて、カラフルで、いきいきと描かれた2階の窓の絵を眺めればいい。そこには虹色の線に入れられた希望がある。人を思う優しさがある。働く事で喜びを得る人々の、命の輝きがある。と締めくくっています。

秋の夜長にお勧めの一冊です。

## ショートステイくわがい家族会

生活相談員 畑柳 佐和子

の月に入り徐々に涼しくなり、くわがい周辺もちらほらと赤くんぼが飛びようになりました。そんな中、今年度のショートステイ家族会を9月16日（土）に開催致しました。当日は雨が降っている中、12名のくわがい家族様にご参加をいただき、喫茶にて和やかに開催できましたことを心よりお礼申し上げます。

今年度の家族会ではインフルエンザ等の感染症の拡大防止や対応についての説明、入所時くわがい家族様からの身体状況の聞き取り等のお話をし、くわがい理解・くわがい協力をお願い致しました。そして日頃のショートステイでのくわがい様子をスライドでお話しさせていただきました。当施設では、くわがい本人様の自宅での生活スタイルを大切にし、ゆったりとした時間を過ごしていただいております。そのため起床時間や就寝時間は特に定めておりません、ゆったりとした時間の中で食事・入浴を楽しんでいただいております。



余暇活動として食前やおやつ前には体を動かす機会を設け、不定期ですがおやつを皆さんと一緒に作っています。家族会の最後には9月の余暇活動で利用者の皆さんにもお作り頂いたお月見団子とゼリーを食べながら、個別にお話しさせていただく時間を設けました。当施設でのくわがい様子や介護について、くわがい家族様のお気持ちを知るとしても良い機会を持つことができ、嬉しく思いました。この家族会での交流を今後のサービスに活かしていくよう努めて参ります。

## 「事例研究の取り組みについて」

介護主任　岡田進太郎

くわがいも開所して10年以上が経ちました。年々入居者様、利用者様の高齢化、重度化が進む中で、職員の入れ替わりや人員不足という壁もあり、「思い描いたケア、満足して頂けるサービスの提供ができずに苦しんでいる現状があります。また、忙しい毎日を理由に自分たちのケアから目を背けていたり、他人任せになっていることもあります。今後ますます専門性が問われていく中で、このままではいけない」という思いから今年度は職員一人ひとりのスキルアップ及び専門職としての仕事に対する意欲の向上を目指して今年度4月から「事例研究」に取り組むことになりました。

今回の事例研究のテーマを「自分で食べる」ことを大切にした食事ケアを考える」として、食事の面について各ユニットの課題と実践計画を立て8月から3ヶ月という短い期間ではありますが活動しています。事例研究の取り組み結果については年末に発表会がありますので、ふれあい新聞を通して報告させて頂きます。

事例研究という取り組み自体が初めてであり、職員も試行錯誤していますが結果を出すだけに目を向けるのではなく、取り組

んでいく中の気付きを増やしたり、介護職としての在り方について改めて考えられる機会に呼ばれています。

この先も人員の確保に努めていますが、たとえ限られた職員であっても、1人ひとりが意識を高く持ち、能力を上げていくことでサービスの質の向上に繋がり、入居者様、利用者様がくわがいでの生活に少しでも満足して頂けるのではないかと考えています。

今後も職員個々の成長はもちろんですが、くわがいが一回りもう回りも大きくなれるように前向きに頑張っていきます。

4月	5日 中旬	リーダー会議にて事例研究の説明（目的、期間、課題、進め方等）…介護主任  ユニット会議にて現場職員への説明（目的、期間、課題、進め方等）…ユニットリーダー テーマ、取り組み内容がまとまり次第、介護主任に相談し取り掛かれるところ は進めて良い…ユニット職員
5月		
6月	7日 中旬	リーダー会議にて事例研究事前提出様式の記入の説明…介護主任  ユニット会議にて現場職員への説明（取り組み方法、書式、テーマ等）…ユニットリーダー 事例研究事前提出様式の作成（テーマ、サブテーマの決定）…ユニット職員
7月	1日	事例研究事前提出様式の提出…ユニット職員 提出された用紙の確認及び修正…ユニットリーダー、介護主任  ※計画の立案及び準備が整い次第、計画に沿った取り組みの実施…ユニット職員
8月	1日～ 計画に沿った取り組みの実施…ユニット職員 ※必要に応じて取り組み内容の見直し及び、(仮)事例研究発表用提出様式への記入…ユニット職員	
9月		
10月	～31日	
11月	1日～	取り組み結果のまとめ（発表資料作成）…ユニット職員 事例研究発表用提出様式の作成…ユニット職員
12月	1日 下旬	事例研究発表用提出様式の提出…ユニット職員 発表資料（原稿）の完成…ユニット職員 ※必要に応じて、模擬操作の指導…ユニット職員、介護主任、事務所職員 全体会議にてユニットの取り組み発表…各ユニット

地域密着型小規模特別養護老人ホーム

# 第二やはぎ苑

## 学区敬老会へ参加してきました

9月9日（土）の矢作北学区敬老会に参加させていただきました。児童の皆さんとのふれ合いや



余興など、  
ご利用者さ  
んやご家族  
と一緒に楽  
しませてい  
ただきました。また児  
童の皆さん

からの心温まるお手紙もたくさん頂戴しました。



9月15日（金）第二やはぎ苑敬老会では、ご利用者  
さん皆さんに、スタッフからの「感謝のひとこと」を  
書いた表彰状をお渡しし、敬老のお祝いをしました。  
手づくりおやつバイキングもお楽しみいただきました。



## テラスで昼食会



9月26日心地よい風が吹く秋晴れの中、テ  
ラスで昼食会を行いました。普段と違う雰囲  
気でのお食事をお楽しみいただきました。

## かかしづくり

7月30日、地域のお子さんと利用者  
さんと一緒に、かかしづくりをしました。



11月5日には収穫祭を開催予定です。

# 小規模多機能やはぎ苑



朝晩と日中の気温差が大きい時期ですのでご自宅での体調管理とやはぎ苑での体調確認により体調を崩される事なく苑での行事や活動に参加していただき、少しでも現在の心身機能が維持できるよう支援していかなければと思います。第二やはぎ苑では地域の方々や子供達とお米作りに取り組んでおります。今年は例年以上に沢山の方々が田植えに参加して頂けました。今回は『案山子作り』『すげ縄作り』を紹介したいと思います。



一緒に新聞紙を丸めたり・・・



藁をまとめて骨組み作り



田んぼに立つかかしたち



刈り取った稲をまとめる『すげ縄』

日頃、表情の変化をあまり見られない利用者の方も子供達と触れ合う機会に、自然と穏やかな表情や笑顔が見られたり、『昔はこれを作らないとご飯が食べられんかった』とお話をしながら、誰よりも上手に早く、すげ縄を作られる姿に驚かされました。ふれあい新聞が発行される頃には、稻刈りが行われ、11月の初旬には『収穫祭』を予定しております。新米の美味しいおにぎりが食べられるのを利用者の方と楽しみに待っております。皆さんも是非、第二やはぎ苑の『収穫祭』へお越しください。

# 小規模特別養護老人ホーム第三やはぎ苑



\*敬老の日\*



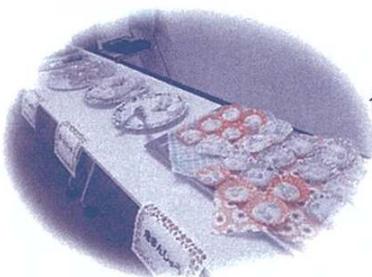
開設して4ヶ月、施設内での初めてのイベントとして、敬老会でおやつバイキングを行いました。

おにまんじゅうにロールケーキ、水ようかんにスイートポテトに海苔せんべい。手作りおやつがいっぱい！！

中でも大人気だったのは、管理栄養士が目の前で焼いてくれるどら焼きでした。

「おいしそうだねえ～」「どれでも食べていいの？」……嬉しそうにおやつを選んでいる入居者様に、職員も笑顔で答えていました。

どら焼きをおかわりした人もいましたよ。



色とりどりの手作りおやつが  
いっぱい並んでいますね♡



みんなでテーブルを囲んで楽しく  
おやつを食べています☆彡



11月5日には第二やはぎ苑・第三やはぎ苑合同で収穫祭を行う予定  
です。賑やかに行いますので、皆様も気軽に遊びに来てください。



今、第三やはぎ苑では職員の技術や知識の向上を目指し  
勉強会を多く行っています。

開設間もないまだまだ未熟な施設ですが、一人一人に寄り添いたい……そんな思いを持って日々努力をしております。



## 夏祭り♪



7月23日、特養やはぎ苑と合同で夏祭りを開催しました。

たくさんのご家族様がお見えになり、盆踊りを見たり、  
おいしいものをたくさん食べたりと、  
みなさん、とても楽しんでおられました。



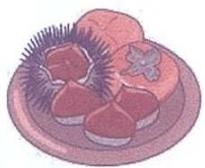
## 安城七夕祭り♪

8月5日は、安城七夕祭りへ行きました。

とても暑い日でしたが、かき氷を食べたり、  
様々な飾りつけを見て、感動されていました。



## 敬老会



今年の敬老会(9月9日)も、皆様でバーベキューを行ないました。

野菜の下ごしらえ、おにぎり作り、炭の火おこし等、ご家族様と職員が汗だくになりながらも和気あいあいとした雰囲気で、楽しい会となりました。

焼きたてのお肉をその場ですぐに召し上がることができ、

皆さん、大変喜ばれていました。

あまりの美味しさに、箸が止まらない方もいましたよ！

食欲の秋にはちょっと早かったですかね…。



「みなさ～ん、美味しいですか？」



「はい、チーズ♪」

「食べ過ぎちゃうけど、  
大丈夫かしら。」

## 長寿のお祝い

節目の年を迎えた方もいらっしゃり、皆さん若々しく、本当にお元気です。

日々、私どもが皆さんから元気をいただいており、恩返しがしたくて、

表彰状と記念品を、敬老会の最後に一人ひとりにお渡しし、お祝いをさせて頂きました。

皆さん、いつまでもお元気で、笑顔の絶えない素敵な日々を過ごして頂けますように、

職員一同、今後も努力してまいります。本当におめでとうございました。



表彰状  
記念品の贈呈です。



## オレンジカフェやはぎを開催！

平成二十九年九月十六日（土）に第二やはぎ苑テラスにて今年2回目の「オレンジカフェやはぎ」を開催しました。台風の前日で悪天候でしたが、たくさんのお客様が来苑され、大変賑やかな時間を過ごせました。

今回はアイセイ薬局さんによる下肢筋力年齢測定や介護予防運動指導員の中澤恵子さんに座つたままでできるストレッチ体操をして頂き、また金魚すくいも楽しんでいただきました。

次回は十二月十六日（土）、平成三十年三月一七日（土）に開催を予定していますので、ぜひお越しください。（会場は橋日本町公民館を予定しています。）

はじめ地域包括支援センター



「ありがとうございました。」

ご寄付・ご寄贈（平成二十九年七月～平成二十九年九月）

ナゴヤベビーサービス社 様

## 編集後記

今年もプロ野球セリーグは、広島カープが圧倒的な強さで昨年に続き優勝しました。本当に走攻守隙のない野球でした。

一方、中日ドラゴンズは、今年もBクラスで終わり5年連続という残念な結果となってしまいました。その原因は一体何でしょうか？ドラゴンズの場合色々ありますが、よく言われているのが若手の伸び悩みです。投手も野手も期待されて入団した選手が育っていません。今の広島は若い選手が次々出てきていますが、広島の指導方法として、有望な若手選手には、あえて積極的に試合に出させて今の自分のレベルと1軍選手とのギャップを痛感させることで何がたりないかを経験させ、選手を始め、コーチ、監督すべてが苦しさに目を背けず、自分に足りなかつたものを出来るまで粘り強く、時には厳しく、時には優しく少しでも早く一人前の選手に育てようと熱意を持つて指導しているそうですね（どこの球団も同じだと思います）。私たちの職場でも、4月に入ってきた半年がたち伸び悩んでいる職員も中にはいます。他の職員と比べられ、悩み苦しんでいるかもしれません。それでも諦めずにコツコツと努力していれば必ず一人前になることが出来ます。そしてそうした経験を積んだ職員は、今度指導する立場になつたとき、悩んでいる職員に寄り添うことの出来る職員になつているのではないでしようか。そんな人の痛みの分かる職員がさらに増えしていくといですね。